

子育て支援センターに遊びにきませんか

「あたたかい ころろがそだてる このみらい」

平成23年度「児童福祉週間」の標語入選作品



遊具で遊ぶ子どもたち（いずも子育て支援センター）

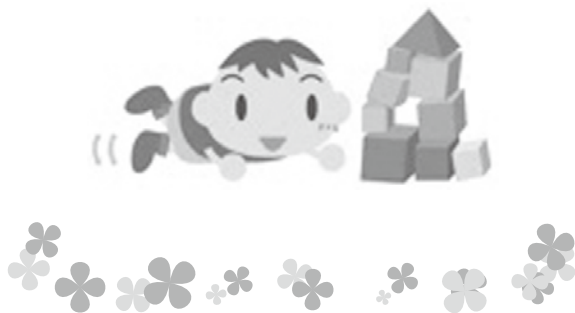
「子育て支援センター」は子育てに関する相談をしたり、育児情報を得たりできる憩いの場所です。

また、子どもと親などが、好きな時間に自由に来て、親子で遊んだり、子どもや親同士の仲間づくりができる遊び場です。

「近所に子どもの遊び相手がない」「同年代の子どもを持つ知り合いが欲しい」「母乳の出が悪い」「離乳食について知

りたい」「身長・体重を測って欲しい」「子育てについての不安を解消したい」などの子育てに奮闘中のお父さん・お母さん。そして孫育てに一生懸命のおじいちゃん、おばあちゃん。みなさんの相談・要望に専門のスタッフが可能限りお応えします。

このような施設が市内には9か所あります。お気軽にご利用ください。



【子育て支援センターの一覧】

施設名	住所	電話	開設日・開設時間
いずも子育て支援センター	塩冶町641-9	21 - 5772	月～土曜日 9:30～16:00
ひらた子育て支援センター	平田町2112-1	63 - 3990	月～木曜日、土・日曜日 9:30～16:30
さだ子育て支援センター	佐田町須佐1146 (須佐保育所内)	84 - 0125	月～金曜日 9:30～15:00
たき子育て支援センター	多伎町小田50-5 (たき保育園内)	86 - 2711	火・金曜日 9:30～11:30
こりょう子育て支援センター	湖陵町二部1751-4 (ハマナス保育園内)	43 - 2621	月～金曜日 9:00～16:30
たいしゃ子育て支援センター	大社町杵築南1397-2 (大社健康福祉センター内)	53 - 2666	月～金曜日 9:30～16:00
中央保育所「れもん組」	今市町828-2	21 - 0597	月～金曜日 9:30～15:00
駅ナカ赤ちゃんルーム	駅北町10-3 (アトネスいずも内)	21 - 1496	月・水～土曜日 10:00～16:30
さんぴーの広場	中野美保南2-15 (さんぴーの出雲内)	24 - 9872	月～金曜日 9:30～16:00

ひとり親家庭の方が利用できる制度のご案内

ひとり親家庭の保護者の方は、子育てと生計の担い手という二重の役割をひとりで担うことになるため、その両立に困難な問題を抱えたり、不安や負担を感じる人は少なくありません。

ひとり親家庭の方が利用できる各種制度を紹介しますのでご相談ください。(制度によっては所得要件があります)

制度	内容	問い合わせ
相談(母子自立支援員)	くらしや仕事、ひとり親家庭が利用できる制度のご案内、養育費の取得、子どものことなど日常生活の悩みについて、相談に応じます。	本 庁…子育て支援課 平田支所…健康福祉課 佐田・多伎・ 湖陵・大社支所…市民福祉課
児童扶養手当	父母の離婚などにより、父または母と生計をともにできない児童が養育されている家庭の生活の安定と自立を助けるために、児童の母または父や父母に代わってその児童を養育している人に支給されます。 ※所得により手当額が決まります。 平成22年8月1日から父子家庭の父も支給対象になりました。	
日常生活支援事業	ひとり親家庭において一時的に生活援助、保育サービスが必要な場合、家庭生活支援員を派遣します。	
ひとり親家庭等児童入学就職支度金	母子家庭・父子家庭の児童が小・中学校入学もしくは中学校卒業後に進学・就職する際、支度金を支給します。ただし、申請年度において請求者の住民税所得割が非課税の場合に支給します。(基準日・申請受付期間あり)	
母子寡婦福祉資金貸付	子どもの高校・大学等への修学資金、母の資格取得のための費用など、経済的自立のための各種資金の貸付を行っています。	
母子家庭自立支援給付金	母子家庭の母の就業を促進するため、資格取得のための授業料の一部や、修業中の生活費の負担軽減のため給付金を支給します。	本 庁…福祉推進課 平田支所…市民生活課 佐田・多伎・ 湖陵・大社支所…市民福祉課
福祉医療制度	・ひとり親家庭、両親のない児童のうち、所得税非課税の場合、子と母(父)の医療費(自己負担分)を助成します。 ・自己負担は医療費の1割です。 ※世帯の市民税課税状況により、自己負担の上限額が決められています。	
就学援助制度	小・中学校に通う子どもの保護者で経済的な援助を必要とする世帯を対象に、学校にかかる費用(給食費など)を援助する制度です。 ※家族の人数に応じた所得制限があります。	本庁…教育委員会教育政策課 各小中学校

問い合わせ先
電話番号

- ◆本庁 子育て支援課 21-6604
- ◆平田支所 健康福祉課 63-3129
- ◆多伎支所 市民福祉課 86-3116
- 福祉推進課 21-6694
- 市民生活課 63-5500
- ◆湖陵支所 市民福祉課 43-1215
- 教育委員会教育政策課 21-6190
- ◆佐田支所 市民福祉課 84-0118
- ◆大社支所 市民福祉課 53-3116

子育てには、お母さん(育児者)のこのころと体の安定した状態が大切です。しかし、現実には「一人で子育てをしているような圧迫感」や「子育てがイヤになったりする時もある」と感

行っています。この集団健診では、あかちゃん(育児者)のこのころと体の安定した状態を確認はもちろんなこと、あかちゃんの豊かな心を育むために、絵本の読み聞かせコーナーを設け、ブックスタート事業を行っています。

今回は、4か月時、1歳6か月時、3歳時という発達の節目に行っている集団健診について紹介します。あかちゃん(育児者)のこのころと体の安定した状態を確認はもちろんなこと、あかちゃんの豊かな心を育むために、絵本の読み聞かせコーナーを設け、ブックスタート事業を行っています。

保健師からのメッセージ



子どもたちが明るく元気に育つのを
見ると、未来に希望を感じます。
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人
も、「えがおになあれ」…そんな願いを
込めて、このコーナーを設けました。
(出雲市要保護児童対策地域協議会)



3歳児健診の様子。子どもたちのすこやかな成長を見守ります。

集団健診の会場では、そのような子育てに関するストレスについてお母さんとゆっくり話ができる機会を設けたり、次の相談にお母さんと関わることで、継続的にお母さんと関わることで、集団健診には保健師だけでなく、医師や栄養士、歯科衛生士、臨床心理士、保育士など、さまざまな立場の専門職が関わっています。一人で悩まないで気軽に声をかけてください。

要保護児童対策地域協議会は、子どもが健やかに育つよう社会さまざまな機関が子育て中の家庭を見守り、必要に応じて支援し、児童虐待等のない社会を目指すために組織したものです。